

が歸獨後、滿洲事變に際して、我國の爲に歐米人の誤解を解くに努力せられた事に依つても知られやう。然し博士は獨り日本を愛したのみではない。サモアにあつてはサモア土民を愛し、伯林東洋美術協會長として現代支那畫展の開催にも盡力せられた一事でも知られるやうに支那をも愛したのであつて、唯博士をして特に日本を愛せしめたものは我が正義を愛する國民性と優れたる美術であつた。

博士の全人格は廣大なる人類愛に満ち満ちて居たのである。然も其の人類愛の底には、彼が若くして印度古典に興味を寄せられた時よりして、東洋的精神への深い理解力と同感が潜んで居た。斯くして博士は日本の精神生活、美術、一般文化の希有の好き理解者となり、日本美術を愛し、其の熱心なる蒐集家となつた。彼の鑑賞眼は當時蔑視された摺りものの大蒐集を完成せしめた。其は徳川時代市民階級の高き文化と趣味と機智を非常に好く示す貴重な資料である。その他徳川末期及明治時代の版畫も多數蒐集し、現代の版畫にも多大の興味を持つて居られた。繪畫では竹内栖鳳の作品を愛好し、其の他の現代畫も有て居られたやうである。其の他彫刻、工藝の古美術品をも蒐めて居られた。

博士が駐日大使として又歸國後、伯林東洋美術協會長として日本及支那美術の海外紹介に努力した功績は大きい。同協會は彼の會長であつた間に、前記支那現代畫展の外日本現代畫展、支那古美術展を開催したが、其の外同協會は研究雜誌を發行し、講演會を催したりして居る。博士個人としても同協會に於てのみならず、無數の會合に招かれて日本美術に就て講演をしたのであつた。又彼が社交界に於て、其の徳義と教智に滿てる親しみ深い人格を以て人々を魅了し去ると同時に東洋美術の祕密をも顯示した場合も多かつたらう。

我等は博士の逝去を獨り日本及獨逸の爲のみならず、世界人類の爲に深く悲み、此處に謹んで哀悼の意を表するものである。(山田)

## 美術研究所時報

### 研究資料閱覽開始

昭和十一年九月一日より本研究所有所蔵の圖書、寫眞等の資料閱覽を開始した。研究所の資料は、研究の必要上蒐集したものであるが、今日に於ては收藏も相當に豊富となり、美術圖書館としての機能をも果し得るに至つたと認められるので、支障なき限りの資料の閱覽を開始し、特別研究に従事する篤學者の利用を俟つこととしたのである。

### 寄贈圖書

奈良帝室博物館歴史圖錄 第三輯  
畫僧高城秋月 佐多芳久著

奈良帝室博物館  
佐多芳久氏

Illustrated Catalogue of a Special Loan Exhibition of Art Treasures from Japan.  
富田幸次郎氏

汎工藝 一四〇七 工藝ニュース 五〇八

日本建築士 一九〇二 國際建築 一二〇八

繪畫教習 四〇八 建築世界 三〇〇八

圖畫と手工 二〇七 史迹と美術 七〇九

浮世繪界 一〇六・七 新建築 一二〇八

美術 一一〇九 美術評論 五〇五

みづゑ 三七九 美育 一二〇九

學校美術 一〇〇九 燒ものの趣味 二〇八

書畫骨董雜誌 三三九 帝國工藝 一〇〇九

Bulletin of the Metropolitan Museum of Art, Vol. XXXI, No. 7

Berliner Museen, LVI Jahrg. Heft. 3

Ostasiatische Zeitschrift, 12 Jahrg. Heft. 1/2